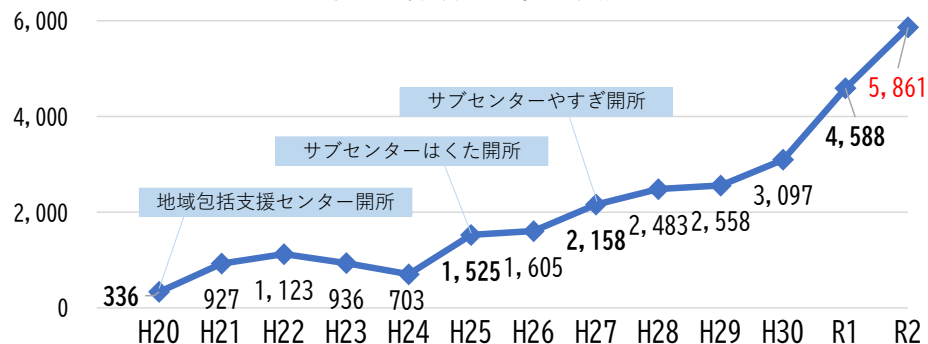
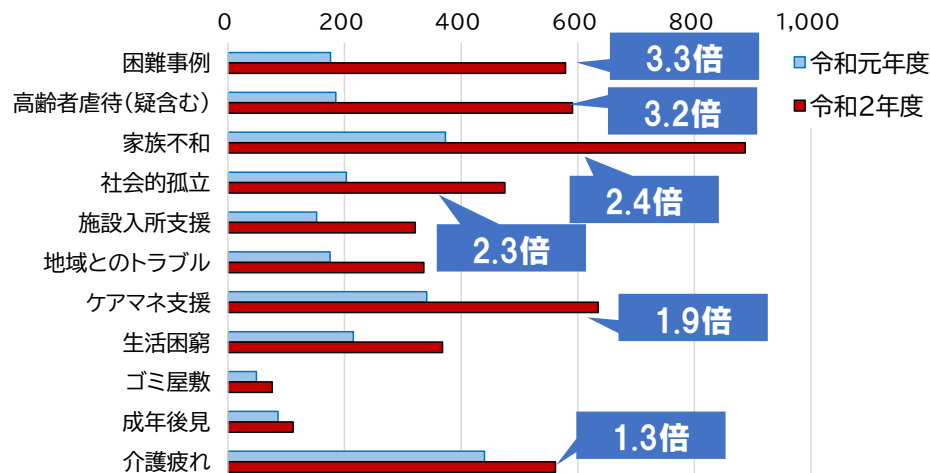


令和2年度「総合相談支援業務」から見えてくる課題

延べ相談件数の年次推移



- ◆相談種別でみると、令和2年度に最も多く寄せられた相談は「介護保険・サービス関連」の2,829件、次いで認知症（疑い含）の2,029件、「状況把握」の1,814件でした。
- ◆令和2年度は、昨年度と比較すると深刻な課題を複数抱える人への相談対応が多くみられました。
- ◆さらに、2種以上の複合的な課題を抱えるのは全体で305人、一人あたりが抱える課題の数は2.6個でした。



令和3年度「こけないからだ体操」がスタートしました！

- 安来市において平成30年度より実施している、「こけないからだ体操」を本年度5月より新たに下記の地区で開始しました。
継続地区と合わせると、市内14団体に拡充されました。

地区	参加者
十神町	14名 (男性 1名、女性 13名)
赤江町	18名 (男性 6名、女性 12名)
荒島町大西町	9名 (男性 2名、女性 7名)
荒島町西中町	8名 (男性 4名、女性 4名)
広瀬町本町	15名 (男性 1名、女性 14名)
伯太町安田中の上	9名 (男性 3名、女性 6名)
全市 (ふれあいプラザ)	10名 (男性 5名、女性 5名)

- 新型コロナウイルス対策のため三密を避け、体操前後の手指消毒、体温測定、マスクの着用等の徹底した感染予防をとりながら実施しています。



- 「こけないからだ体操」では、専門職関与のもとで行う「体力測定」と、フレイル早期発見システム「ASTER II」を導入した「基本チェックリスト」を実施し、身体機能と生活機能の両面から効果検証をしています。



安来市介護予防拠点事業がスタート！ ～短期集中予防サービス（通所型C）～

昨年度の「校区别地域ケア会議」及び「安来市地域ケア推進会議」のテーマのフレイル予防・介護予防の政策提案等を踏まえ、本年度から「安来市介護予防拠点事業」がスタートしました。

安来市の新規事業として、拠点では「こけないからだ体操」や「認知症予防」に加え、「短期集中予防サービス」（通所型サービスC）など包括的なフレイル予防・介護予防を実施します。

今回は「短期集中予防サービス」（通所型C）を紹介をします。

短期集中予防サービスとは？

理学療法士・言語聴覚士が筋力・持久力・バランス維持能力等の評価を行いながら、「運動機能」「栄養状態」「口腔機能」「心身機能」の改善を目的とし、短期間で集中的にフレイル・介護予防サービスを行います。



■対象者

安来市にお住まいの65歳以上の方で運動・日常生活動作の低下がみられると判断された方



■会場

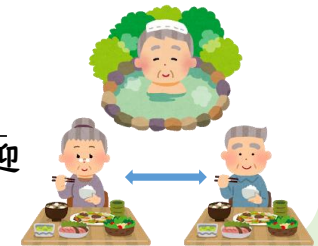
ふれあいプラザ「交流室」
安来市古川町848
※送迎サービスを行います。



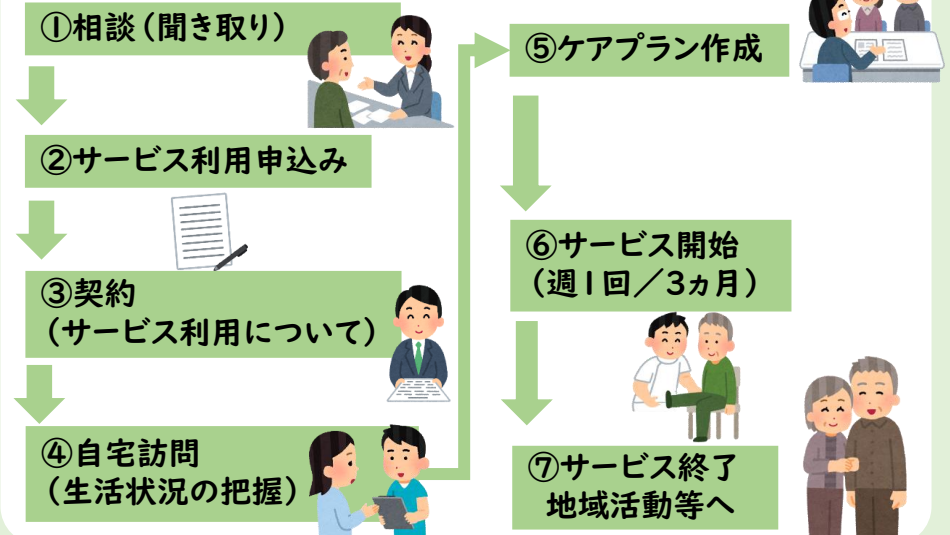
利用日時・期間・定員・その他

- 日時：週1回（毎週火曜日）10:00～13:30
- 期間：3ヵ月間（原則）～6ヵ月
- 定員：10名程度
- その他

利用者様には食事・温泉セット（650円）をご用意します。（希望されない場合の送迎については別途調整します）



サービス利用の流れ



新任職員のご紹介

岩崎 美智（いわさき みち） 看護師

3児の母で育児奮闘中です。初めての経験でご迷惑おかけすると思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

岩田 真由美（いわた まゆみ） 介護支援専門員

生まれも育ちも広瀬町です。大好きな地域で、これからの新しい出逢いを大切にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。